

シラバス対応表（1年生）

Gコード科目（歯学科・口腔生命福祉学科共通）

講義番号	科目名	開講学期 ▲1学期 ▼2学期 ●通年	単位	代表教員	頁
220G4244	歯学スタディ・スキルズ	▲ 4月～7月	2	小野 和宏	8

歯学科専門科目

講義番号	科目名	開講学期 ▲1学期 ▼2学期 ●通年	単位	担 当 (教育研究分野)	頁
220DS101	早期臨床実習 I	▲ 4月～7月	1	歯科臨床教育学分野臨床系各分野	10

口腔生命福祉学科専門科目

講義番号	科目名	開講学期 ▲1学期 ▼2学期 ●通年	単位	代表教員	頁
220DA101	早期臨床実習 I B	▲ 4月～7月	2	吉羽 邦彦	12

科 目 名：歯学スタディ・スキルズ

担当教員名(所属)：小野 和宏、濃野 要、西山 秀昌、Stegaroiu Roxana、新美 奏恵、秋葉 陽介、丹原 惇、
斎藤 有吾

開 講 番 号：220G4244

開 講 学 期：第1, 2ターム

水 準：11

単 位 数：2単位

対 象 学 部 等：歯学部1年生

【科目概要】

この授業では、教えられる受け身の学習から能動学習への転換を図るために必要な基礎的能力を育成する。歯学教育ならびに口腔保健福祉学教育の入り口として、主体的な学びの習慣を身につける場となっている。

【科目のねらい】

知識基盤社会において生涯にわたって学ぶ習慣を身につけた人材となるために、自ら課題を見つけ、必要な情報を収集、分析、統合し、論理的に思考して問題を解決する能力を習得する。

【学習の到達目標】

各回の授業で学んだ知識と技能をもとに、レポートを作成し、その内容をプレゼンテーションする。その過程を通じて、以下のことができるようになる。

- 学習のためにコンピュータを効果的に活用する。
- 与えられた課題から問題を見出し、その解決策を結論する。
- 自分の主張の根拠を示し、対立意見より自分の主張が優れていることを示す。
- 自分の主張・結論を文章および口頭により、わかりやすく他者に伝える。

【授業実施形態について】

授業は演習方式で進められる。毎回の授業終了時に小課題が出されるので、自宅等で自主学習を行い、期限までに指定された方法で提出する。課題の提出をもって出席とする。質問等は教員宛の電子メールで受けつける。

【登録のための条件(注意)】

自宅におけるインターネット環境を整備することが望ましい。

【授業計画】

回	日時	講義内容(担当)	授業時間外の学修
1	4/8 (金) 3限 4限	ガイダンス(小野) コンピュータの基本操作(丹原) 場所：医歯学図書館マルチメディアホール	コンピュータの取り扱いに慣れておくこと
2	4/15 (金) 3限 4限	レポートの書き方(その1)(小野) 電子メールの使い方(丹原) 場所：医歯学図書館マルチメディアホール	テキスト第2章、第11章の要点確認
3	4/22 (金) 3限 4限	インターネット・セキュリティ(西山) 医歯学図書館の利用方法(金子) 場所：医歯学図書館マルチメディアホール	テキスト第1章、第5章の要点確認
4	5/6 (金) 3-4限	ワードの基本操作(西山) 場所：医歯学図書館マルチメディアホール	テキスト第7章の要点確認
5	5/13 (金) 3限 4限	レポートの書き方(その2)(小野) 情報検索の仕方(瀬高) 場所：医歯学図書館マルチメディアホール	テキスト第4章、第11章の要点確認
6	5/20 (金) 3-4限	エクセルの基本操作(濃野) 場所：医歯学図書館マルチメディアホール	テキスト第8章の要点確認
7	5/27 (金) 3限 4限	レポートの書き方(その3)(小野) 情報倫理(西山) 場所：医歯学図書館マルチメディアホール	テキスト第6章、第11章の要点確認
8	6/3 (金) 3-4限	レポート作成(小野・丹原) 場所：医歯学図書館マルチメディアホール	課題レポートの作成
9	6/10 (金) 3-4限	デジタル情報の取り扱い(西山) 場所：医歯学図書館マルチメディアホール	テキスト第3章の要点確認
10	6/17 (金) 3-4限	オリジナル・スライドマスターの作成(斎藤) 場所：医歯学図書館マルチメディアホール	テキスト第10章の要点確認 予習動画の視聴
11	6/24 (金) 3-4限	パワーポイントの基本操作(新美) 場所：医歯学図書館マルチメディアホール	テキスト第9章の要点確認

12	7/1 (金)	3限 4限	プレゼンテーションの仕方 (秋葉) プレゼンテーション作成 (秋葉) 場所: 医歯学図書館マルチメディアホール	テキスト第12章の要点確認 発表スライドの作成
13	7/8 (金)	3限 4限	プレゼンテーション作成 (秋葉) 英語で考えよう (ロクサーナ) 場所: 医歯学図書館マルチメディアホール	発表スライドの作成 テキスト第13章の要点確認
14	7/15 (金)	3-4限	グループ発表 場所: 未定 (決まりしだい連絡します)	発表の準備
15	7/22 (金)	3-4限	全体発表 場所: 未定 (決まりしだい連絡します)	課題レポート提出の準備

【成績評価の方法と基準】

レポートとプレゼンテーションにより評価する。レポート (60%)、プレゼンテーション (40%) で、60点以上を合格と判定する。レポートの評価基準 (ルーブリック) は使用テキストに掲載しており、プレゼンテーションもこれに準じる。なお、毎回の授業終了時に出される小課題を提出しない者は、出席不足として、成績判定の対象にならない (単位認定されない) 場合があるので、十分に注意すること。

【使用テキスト】

『大学で学ぶための学習ガイドブック 第2版』(新潟大学歯学部編, 2022)
1回目の授業時にテキストを配布する。

【関連リンク】

関連リンクがある場合は、授業時に担当教員が紹介する。

【参考文献】

参考・推薦図書等がある場合は、授業時に担当教員が紹介する。

科 目 名：早期臨床実習Ⅰ

担当教員名(所属)：藤井 規孝、吉羽 邦彦、中村 太、佐藤 拓実、長谷川 真奈、伊藤 加代子、大川 純平、田中 裕、倉田 行伸、花崎 美華、池田 順行、佐藤 圭祐、大森 裕子、佐久間 英伸、西山 秀昌、KAUNG MYAT THWIN、高 昇将、Rosales Marcelo、外園 真規、柴田 佐都子、米澤 大輔、諏訪間 加奈、松本 明日香、小川 友里奈、遠藤 千佳(病)、高野 綾子(病)

開 講 番 号：220DS101

開 講 学 期：第1学期

水 準：13

単 位 数：1単位

対 象 学 部 等：歯学部歯学科1年生

【科目概要】

歯科医学学習のスタートに臨み、医療人としての道を歩み始めたことを自覚するため、自ら患者役を体験する「患者役実習」、各専門診療科の治療を見学する「治療見学実習」、新患患者さんを受付、予診、診察、会計まで案内する「患者付添実習」、臨床現場における日常的な対応を学び体験する「接遇体験実習」の4つの実習とグループ討議・発表を行う。

※歯科医師としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

「患者役実習」では、自ら患者となることで、患者さんの肉体的・精神的苦悩を体験し、歯科医師や歯科衛生士等の医療人としての態度や知識、技量を観察する。「治療見学実習」では、治療の流れ、必要な基礎的・臨床的知識や技量、コ・デンタルスタッフとの連携などを体験する。「患者付添実習」では、大学病院のシステムや機能を理解し、また患者さんとコミュニケーションをとりつつ、患者さんの心理的問題を感受し、患者さんやご家族への配慮を体得する。「接遇体験実習」では医療人として患者さんおよび病院スタッフとの日常的な対応について学び、体得する。これら4つの実習とグループ討議・発表を通じて、歯科医学の目的と学習の目標を明確にし、病院スタッフおよび患者さんとのコミュニケーションの大切さを理解する。

【学習の到達目標】

- ・社会通念上、常識的な態度・会話を説明する。
- ・社会人としての基本的な身なり、振る舞いを実践する。
- ・患者さんとコミュニケーションする。
- ・医療スタッフとコミュニケーションする。
- ・問題点について、その要点を的確にまとめる。
- ・歯科医療を行うに当たって学習しておくべき項目を列挙する。
- ・障がい者の身体的、精神的および心理的特徴を知り、基本的な対応ができる。また、介護の重要性を説明する。

【授業実施形態について】

医歯学総合病院を学習の場として見学実習および体験実習を行う。また、実習を通じて得られたもの、感じたことを実習日誌に記録し、最終的に感想文としてまとめる。

グループ討議・発表ではグループごとに課題を設定し、討議を通じてプロダクトを作成して、全体討議で発表・討論を行う。さらに全実習を通じた感想を1分間の個人スピーチで発表する。

【登録のための条件(注意)】

- ・各回の集合場所・集合時間の詳細・服装等については入学ガイダンスおよび初回授業時に指示する。

【授業計画】

回	日時	講義内容(担当)	授業時間外の学修
1	4/8(金)1-2限	実習の説明・病院見学	事前配布資料、医歯学総合病院歯科HPの確認
2	4/15(金)1-2限	歯科医療スタッフ等による職業紹介	歯科医療スタッフおよび医院に勤務する職種の確認
3	4/22(金)1-2限	1班20名程度の3班に分かれてそれぞれ患者役実習、治療見学、付添実習を行う。接遇体験実習、車椅子実習は別途班を指定して行う。3班とは別に1	歯科外来フロアマップや各実習の内容確認、前回の振り返り、全体発表の準備
4	5/6(金)1-2限	グループ10名程度のA~Fグループを	
5	5/13(金)1-2限	構成し、全体発表の準備としてグループ討議を行う機会を2回程度設ける。	
6	5/20(金)1-2限	以下、4回~14回まで班あるいはグループごとに指定する内容で実習を行う。	
7	5/27(金)1-2限		
8	6/3(金)1-2限		
9	6/10(金)1-2限		
10	6/17(金)1-2限		
11	6/24(金)1-2限		
12	7/1(金)1-2限		
13	7/8(金)1-2限		
14	7/15(金)1-2限		
15	7/22(金)1-2限	全体発表・討議	討議・発表の準備

【成績評価の方法と基準】

担当教員による「患者役実習」の評価（10%）、患者さんによる「付添実習」の態度評価と観察記録（10%）、提出レポート（20%）、グループ討議の成果（10%）、感想発表（10%）および聴講態度評価（40%）をもとに、総括的評価を行う。

【使用テキスト】

指定しない。必要に応じて資料、プリントを配布する。

【参考文献】

必要に応じて、授業で紹介する。

科目名：早期臨床実習ⅠB

担当教員名(所属)：吉羽 邦彦、藤井 規孝、柴田 佐都子、米澤 大輔、諏訪間 加奈、松本 明日香、小川 友里奈、中村 太、佐藤 拓実、長谷川 真奈、伊藤 加代子、大川 純平、田中 裕、倉田 行伸、花崎 美華、池田 順行、佐藤 圭祐、大森 裕子、佐久間 英伸、西山 秀昌、KAUNG MYAT THWIN、高 昇将、Rosales Marcelo、外園 真規、遠藤 千佳(病)、高野 綾子(病)

開講番号：220DA101

開講学期：第1学期

水準：13

単位数：2単位

対象学部等：歯学部歯学科1年生

【科目概要】

歯科医学学習のスタートに臨み、医療人としての道を歩み始めたことを自覚するため、自ら患者役を体験する「患者役実習」、各専門診療科の治療を見学する「治療見学実習」、新患患者さんを受付、予診、診察、会計まで案内する「患者付添実習」、臨床現場における日常的な対応を学び体験する「接遇体験実習」の4つの実習とグループ討議・発表を行う。

※歯科医師としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

「患者役実習」では、自ら患者となることで、患者さんの肉体的・精神的苦悩を体験し、歯科医師や歯科衛生士等の医療人としての態度や知識、技量を観察する。「治療見学実習」では、治療の流れ、必要な基礎的・臨床的知識や技量、コ・デンタルスタッフとの連携などを体験する。「患者付添実習」では、大学病院のシステムや機能を理解し、また患者さんとコミュニケーションをとりつつ、患者さんの心理的問題を感受し、患者さんやご家族への配慮を体得する。「接遇体験実習」では医療人として患者さんおよび病院スタッフとの日常的な対応について学び、体得する。これら4つの実習とグループ討議・発表を通じて、歯科医学の目的と学習の目標を明確にし、病院スタッフおよび患者さんとのコミュニケーションの大切さを理解する。

【学習の到達目標】

- ・社会通念上、常識的な態度・会話を説明する。
- ・社会人としての基本的な身なり、振る舞いを実践する。
- ・患者さんとコミュニケーションする。
- ・医療スタッフとコミュニケーションする。
- ・問題点について、その要点を的確にまとめる。
- ・歯科医療を行うに当たって学習しておくべき項目を列挙する。
- ・障がい者の身体的、精神的および心理的特徴を知り、基本的な対応ができる。また、介護の重要性を説明する。

【授業実施形態について】

医歯学総合病院を学習の場として見学実習および体験実習を行う。また、実習を通じて得られたもの、感じたことを実習日誌に記録し、最終的に感想文としてまとめる。

グループ討議・発表ではグループごとに課題を設定し、討議を通じてプロダクトを作成して、全体討議で発表・討論を行う。さらに全実習を通じた感想を1分間の個人スピーチで発表する。

【登録のための条件(注意)】

- ・各回の集合場所・集合時間の詳細・服装等については入学ガイダンスおよび初回授業時に指示する。

【授業計画】

回	日時	講義内容(担当)	授業時間外の学修
1	4/8(金)1-2限	実習の説明・病院見学	事前配布資料、医歯学総合病院歯科HPの確認
2	4/15(金)1-2限	歯科医療スタッフ等による職業紹介	歯科医療スタッフおよび医院に勤務する職種の確認
3	4/22(金)1-2限	1班20名程度の3班に分かれてそれぞれ患者役実習、治療見学、付添実習を行う。接遇体験実習、車椅子実習は別途班を指定して行う。3班とは別に1	歯科外来フロアマップや各実習の内容確認、前回の振り返り、全体発表の準備
4	5/6(金)1-2限	グループ10名程度のA~Fグループを	
5	5/13(金)1-2限	構成し、全体発表の準備としてグループ討議を行う機会を2回程度設ける。	
6	5/20(金)1-2限	以下、4回~14回まで班あるいはグループごとに指定する内容で実習を行う。	
7	5/27(金)1-2限		
8	6/3(金)1-2限		
9	6/10(金)1-2限		
10	6/17(金)1-2限		
11	6/24(金)1-2限		
12	7/1(金)1-2限		
13	7/8(金)1-2限		
14	7/15(金)1-2限		
15	7/22(金)1-2限	全体発表・討議	討議・発表の準備

【成績評価の方法と基準】

担当教員による「患者役実習」の評価（10%）、患者さんによる「付添実習」の態度評価と観察記録（10%）、提出レポート（20%）、グループ討議の成果（10%）、感想発表（10%）および聴講態度評価（40%）をもとに、総括的評価を行う。

【使用テキスト】

指定しない。必要に応じて資料、プリントを配布する。

【参考文献】

必要に応じて、授業で紹介する。